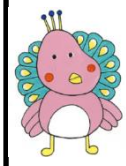
学校の教育目標：やさしく かしこく たくましく　経営方針：心の宝物に満ちた学校に



かさはら TEAM

令和 4 年度
笠原小学校
学校便り
6 月 24 日号

児童会：誰もが楽しい笠原小学校を創りあげていくために、思いやり・ルールを大切にしよう

共に歩んだ足跡

校長　鈴木　稔朗

先日はご多用中にも関わらず、育てたい児童の意識や姿に係るアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。現段階での結果がまとまりましたのでお知らせします。

下の表は現時点での児童の意識、次ページの表は、ご協力頂いた保護者の皆様の評価となります。

（「5　よくあてはまる　4　ややあてはまる　　2　あまりあてはまらない　1　全くあてはまらない」設問は低学年版で標記しています。オレンジの網掛けは前回より上昇。右のパーセントは各設問に5または4を選んだ児童の割合です。91％以下のとき、ピンクに反転させてあります）

	つくし	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	4月	「あてはまる」(5･4)の割合
じぶんにはいいところがあるよ	4.6	4.7	4.5	4.1	4.1	4.1	3.9	4.3	4.4	87.0%
みんなもじぶんをほめてくれるよ	4.9	4.6	4.2	4.0	4.3	4.4	4.1	4.4	4.3	87.8%
みんなのいいところををほめたりまねたりしているよ	4.6	5.0	4.5	4.2	4.3	4.2	4.2	4.4	4.4	89.5%
「ありがとう」ってよくいうよ	4.9	4.9	4.6	4.5	4.9	4.8	4.7	4.8	4.8	97.2%
ちゃんと「ごめんなさい」がいえるよ	4.9	5.0	4.7	4.6	4.6	4.6	4.4	4.7	4.7	96.3%
がっこうはたのしいよ	4.7	4.9	4.8	4.4	4.4	4.2	3.9	4.5	4.5	89.5%
みんなちがうよ　でもわかりあうよ	4.7	4.9	4.7	4.4	4.1	4.3	3.7	4.4	4.4	89.5%
「はい」とおへんじしているよ	4.8	5.0	4.8	4.5	4.2	4.3	4.0	4.5	4.5	90.9%
えいごのべんきょうはたのしいよ	4.7	4.8	4.7	4.7	4.4	4.4	4.1	4.5	4.5	92.0%
本がすきでよくよむよ	4.8	4.8	4.5	4.3	4.3	4.3	3.8	4.4	4.2	85.0%
「です」「ます」でおはなしするよ	4.6	4.8	4.8	4.3	4.5	4.6	4.3	4.5	4.5	92.9%
つたえようとおもってはなすよ　いいたいことをわかろうとおもってきくよ	4.7	4.9	4.5	4.2	4.2	4.3	4.1	4.4	4.5	91.8%
べんきょうがよくわかるよ	4.7	4.7	4.5	4.1	4.3	4.3	4.2	4.4	4.5	89.7%
おおきなこえでおはなしできるよ	4.6	4.9	4.4	3.9	4.1	4.2	4.0	4.3	4.3	85.8%
やすみじかんはそとであそぶよ	4.9	4.8	4.7	4.3	4.6	3.5	3.7	4.4	4.6	84.7%
おしゃべりしないでがんばってそうじしているよ	4.6	4.8	4.5	4.0	4.4	4.7	4.3	4.5	4.5	91.8%
いつもあいさつやえしゃくをするよ	4.9	4.8	4.6	4.3	4.2	4.1	4.1	4.4	4.3	88.9%
もくしょくでもゆっくりたのしくたべてるよ	4.6	4.8	4.6	4.3	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6	94.3%
いいことはめんどうでもがんばるよ	4.6	5.0	4.7	4.4	4.3	4.4	4.1	4.5	4.5	93.7%
せんせいはほめてくれるよ	4.9	4.8	4.5	4.1	4.2	4.4	4.1	4.4	4.5	89.1%
みつにならないでてあらいもしているよ	4.7	4.9	4.7	4.4	4.6	4.7	4.5	4.6	4.7	95.8%
	4.7	4.8	4.6	4.3	4.4	4.4	4.1	4.5	4.5	

「ありがとう」と「ごめんなさい」は、よりよい人間関係を築く鍵となる「魔法の言葉」です。そこに高い意識をもつ児童が多いことが、学校の温かさを支えています。全体的には4月の意識とほぼ同じか、やや下がっています。誤解をおそれずに言えばこれは想定内です。4月の張り詰めて角張った希望や意欲が、3か月間の様々な出来事を通して研磨されています。その間に、自分ができたこと、課題となっていることを客観的に捉えられるようになったということです。地に足をつけて歩み出し始めたと、前向きに捉えたいと考えています。そんな中で上昇している項目があります。「みんなも自分をほめてくれる」という意識の上昇は、仲間への安心感の広がりです。「読書」「挨拶」の意識も向上しています。「掃除」も「話す・聴く」も、「楽しい黙食」も、「外遊び」も、「コロナ対応」も、変わりなく高い意識が継続しています。これについては、6年生を中心とした、委員会の児童のリードによるところが大変大きいと感じます。雨の日も風の日も門に立って挨拶を続ける代表委員、掃除の仲間の頑張りを見て

回り、全校放送でよさを伝える環境委員、幼稚園に、全校に、読み聞かせで読書の輪を広げる図書委員。工夫して新コーナーを始めた放送委員、「感謝の気持ちをもって、味わって」と毎日呼びかける給食委員、運動会前のグラウンド整備ボランティアを企画した運動委員、日々の地道な石けんの補充に加え「マスクの着脱」について検討してくれている保健委員。児童が自分たちの手で自立力と共生力を高め、より温かい、より優しい笠原小学校の実現に向けて着実に歩みを進めています。

一方で、一人一人に目を向けてみると、心配な状況も見えてきます。一人一人の意識の推移や現状については、生徒指導主事の指示の下、担任、学年でしっかり目を通し、声をかけてケアし、個別懇談等で保護者の皆様とも共有して参ります。よろしくお願いいたします。

次に、保護者の皆様に頂いた評価をお示しします。（数字等の意味は前ページの表に同じです）

	つくし	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	R3後	「あてはまる」(5･4)の割合
子どもは自分にはよいところがあると感じている	4.2	4.4	4.4	3.9	4.2	4.1	4.2	4.2	4.1	94.0%
子どもは仲間が自分のよさをわかってくれると感じている	4.2	4.2	4.0	3.9	4.2	4.1	4.0	4.1	4.0	90.0%
子どもは友だちのよさを認めたり自分に取り入れたりしている	3.4	4.2	4.3	4.1	4.3	4.3	4.0	4.1	4.1	91.0%
子どもは学校へ行くことを楽しいと感じている	4.2	4.3	4.4	4.2	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	90.3%
子どもは自分とちがう立場や意見も大切だと考えるようになっている	2.9	3.9	4.0	3.9	4.2	4.2	4.0	3.9	3.9	89.0%
子どもは英語活動のよさを感じて前向きに取り組んでいる	4.2	4.1	4.1	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0	3.9	83.7%
子どもはよく本を読んでいる	3.5	3.8	3.8	3.1	3.4	3.3	2.7	3.4	3.4	59.0%
子どもは授業がわかりやすく力がつくと感じている	3.8	4.1	3.8	3.8	4.0	3.9	3.8	3.9	3.9	84.6%
子どもは学校の掃除に誇りを感じて取り組んでいる	3.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.1	4.2	92.0%
子どもは地域や家庭でよく挨拶する	3.8	4.0	4.1	3.8	4.2	3.9	4.0	4.0	3.9	82.7%
子どもは面倒なことでも、したほうがよい行動を選び取る力が育っている	2.6	3.6	3.3	3.6	3.7	3.7	3.4	3.4	3.4	70.6%
本校職員は児童を適切にほめている	4.4	4.4	4.4	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	94.0%
本校職員は児童を適切に叱っている	4.3	4.0	4.2	4.0	3.9	4.2	4.1	4.1	4.1	89.7%
本校職員は児童のよさや誕生日の祝意を保護者に伝えている	4.6	4.5	4.5	4.3	4.4	4.2	4.5	4.4	4.2	93.3%
子どものよさが認められる「心の宝物に満ちた学校」になっている	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	94.0%
学校は新型コロナ感染予防によく取り組んでいる	4.6	4.7	4.6	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	98.0%
事故（けがやトラブル等）対応や安全配慮が誠実に丁寧になされている	3.8	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	94.7%
本校職員は保護者や地域の相談や要望に適切に対応している	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2	4.2	4.1	93.6%
学校の教育方針や情報が校報・HP等でわかりやすく伝えられている	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	4.2	4.1	4.1	4.2	90.0%
本校職員の言葉や態度は子どもたちの手本となっている	4.3	4.1	4.0	4.2	3.9	4.1	4.2	4.1	4.1	89.3%
校舎内外の環境が常に美しく整っている	4.5	4.4	4.2	4.3	4.2	4.4	4.3	4.3	4.1	93.6%
	4.0	4.2	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	

保護者の皆様には多くの項目で、昨年度後期よりも高い評価を頂きました。とりわけ、新型コロナの対応と、担任を中心に「児童のよさや誕生日の祝意をお伝えしている」という項目に高い評価を頂くことができました。また「児童を適切にほめている」「子どものよさが認められる学校になっている」「けがやトラブル対応の丁寧さ」等の取り組みも肯定的に見て頂いています。児童のよさに立脚した教育の推進を願い、「先に丁寧に」を合い言葉に、保護者の皆様との情報共有とよき関係づくりを大切にしようと、職員は、児童のよさについての情報を交流し、放課後を中心にご家庭への「HappyCall」に力を尽くしてくれております。それをみとめていただけていることが、校長として本当に嬉しく、心より感謝申し上げます。

一方で、本年度より、本校が育成に重点を置く「共生力」と「自立力」（黄色の網掛けの項目）の到達度には厳しい評価を頂きました。組織的な取り組みを一層充実し、育成を図って参ります。一方、前表（児童の意識）の同じ項目では、児童は自分たちの自立力と共生力の現在に、手応えを感じていることも見て取ることができます。そんな児童の自己（自校）肯定感を大切にしつつ、より一層寄り添い、励まして参ります。同様に、読書への意欲や授業についても変わらず厳しい評価を頂きました。学力の定着も学校の至上の使命として、教務主任を中心に取り組んで参ります。記述欄に頂きましたご意見も含めて今後全職員で全ての結果を共有し、今後の教育活動に必ず活かして参ります。今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。